

東日本大震災で、日本人の考え方が大きく変容したと言われます。電通総研の「震災一カ月後の生活者意識調査」によると、「ご飯を食べられる」、「家族と一緒にいられる」といった、今まで私たちが当たり前と想っていたことに、日本人はありがたみや感謝を感じるようになっていきました。また、震災後、自分第一主義よりも、家族や友人・仲間を守り、助けたいという気持ち震災前より強まっているようです。

開発途上国では、まさに日本ではごく当たり前のことを享受できない人がたくさんいます。そして、震災を経験したことは、私たちが真剣に開発途上国の人々について考える機会にもなったのではないのでしょうか。

日本の若者は内向き志向とよく言われますが、震災後の新聞記事を読んでいると、若者は積極的にボランティア活動に参加しています。これを見ると、日本の若者は決して内向きではなく、社会貢献に積極的で、頼もしさを感じます。こうした若者たちが、国際協力にも積極的に参加してくれることを期待したいと思います。

今回の震災の規模は想像を絶するほど大きく、日本だけで対応できるものではありません。震災の復興を、海外からの支援も受けて一緒に進めていくとともに、どんなに日本の状況が厳しくても、途上国が抱える困難な問題から目をそらさず、私たちができることを考えていく必要があります。

今月号は、震災に対するJICAを含む国際協力関係者の取り組みを振り返ってお伝えしましたが、この特集が、あらためて皆様が国際協力の新たな一面を考えるきっかけとなれば幸いです。

JICA広報室 参事役 小川正純

本誌へのご意見・ご感想や  
JICAへのご質問を  
お寄せください。

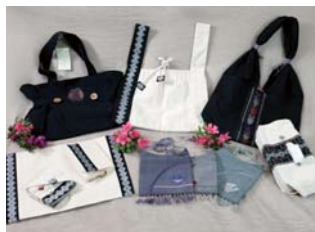
プレゼント  
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報は統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2011年8月15日

Email: [jica@idj.co.jp](mailto:jica@idj.co.jp)  
FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① ベトナムの織物 (ご希望の商品名を明記ください)
- ② 書籍『そのこ』(p41参照)
- ③ 書籍『いま誰もが気になる アフリカの大疑問』(p41参照)



①



②



③

本誌をご希望の場合は  
下記方法で  
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払いください。入金を確認後、発送手配をいたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)  
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル  
TEL 03-3584-2191  
FAX 03-3582-5745  
Email [order@idj.co.jp](mailto:order@idj.co.jp)



次号予告 (2011年8月1日発行予定)

食料安全保障

今年に入り記録的な高騰を続ける食料価格。その影響を最も受けやすい途上国に対する、食料の安定的な生産・供給に向けたJICAの支援を特集します。

JICA's World

JULY 2011 No.34

編集・発行/独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル  
TEL : 03-5226-9781 FAX : 03-5226-6396 URL : <http://www.jica.go.jp/>

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。